

データ抽出の操作手順

抽出プログラムの機能：

指標値型データの抜き出し PGM は、Excel シート上にある項目一覧表の各項目の抜き出し指示にしたがってデータを抜き出す。抜き出しは RID 項目の指定、データセルの指定、レコード数の指定が可能である。

Excel-VBA で作成してある（Microsoft 社の Excel が必要）。

手順概要：

Excel を起動したのちに抽出用プログラムを開いてください。抽出プログラムは指標値型データと同じところに記録されている。プログラム名は町丁字等別その 2 の場合は「SELH12KK2S.xls」です。

プログラム起動後の処理は、次の 2 つのステップに分かれる。

- 1．Excel シートの項目一覧表上に抜き出しの指示をする。
抜き出したい項目に * を入れる。
- 2．抜き出し元となるファイル、抽出済み結果の保存先、最大レコード数を指示し、抜き出しを実行する。

補足：

小地域集計（基本単位区別、町丁字等別）は集計値のほかに次の情報が不可されている。この情報は RID 項目に記録されている。

(1) 秘匿情報

小地域集計（基本単位区別、町丁字等別）は秘匿措置がされている。

秘匿情報は秘匿地域の町丁字コードであり、秘匿先、秘匿元の 2 種類の意味合いがある。秘匿についてはこの説明書の最後の項を参照のこと。

(2) 町丁字名称

漢字の町丁字名称を記録している。

(3) 中心点座標

基本単位区別集計の場合にのみ、緯度と経度の情報を記録している。

操作手順：

1．抽出プログラムの起動

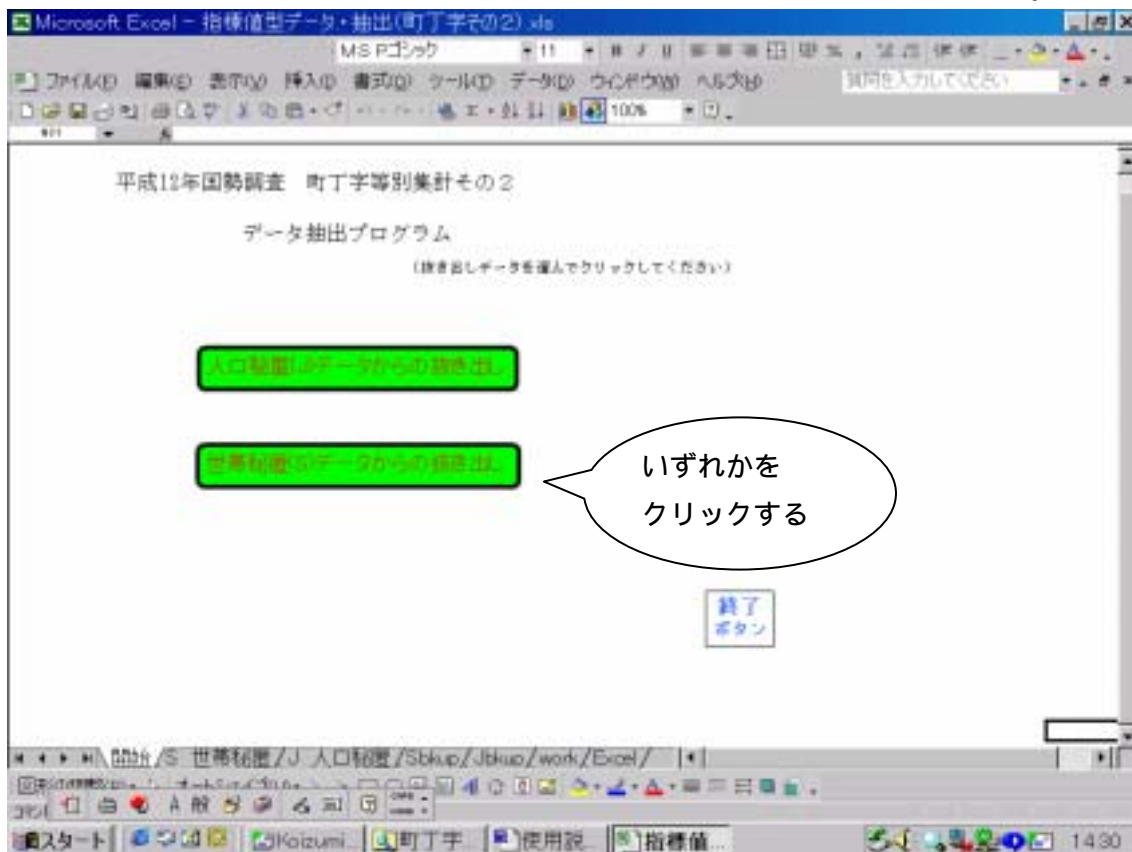
「SELH12KK2S.xls」を Excel に読み込んでください。次の画面が表示されたら「マクロを有効にする (E)」をクリックする。



この画面が表示されない場合は Excel の「ツール」, 「マクロ」, 「セキュリティ」でセキュリティレベルを「中」にして下さい。

2．最初の画面では秘匿タイプを選ぶ。

クリックするとそれぞれのタイプの項目選択 Excel シートが表示される。



秘匿は次の2種類があり、種類ごとにファイルが分かれています。

人口数秘匿：「一般世帯数」と「施設等の世帯人員」の合計が1～3の地域。

世帯数秘匿：「一般世帯数」が1～3の地域。

(各ファイルの集計項目は次の画面で表示されます。ドキュメントでは項目一覧表を参照してください。ドキュメントの項目一覧表はファイル別になっている)

2. Excelシート上に必要事項を記入(キーイン)する。

(1) RIDの選択

ファイルアイデントから市区町村番号+町字コードまでの項目のうち、抜き出したい項目には、第1列目に*(大文字、小文字いずれでもOK)を入れる。また、3列目以降の列に抜き出し対象となるデータのコードを記述する。複数ある場合は4列目、5列目と順次記述する。

(2) 集計数値項目の選択

抜き出したい項目には、第1列目に*(大文字、小文字いずれでも可能)を入れる。

The screenshot shows an Excel spreadsheet with the following content:

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1		指標値型データの抜き出し							
2		平成12年国勢調査 小地域集計 町丁字等別集計その2							
3		---	人口数秘匿	---					
4		以下の区分で必要なものがあれば項目の横(の罫)にコードを記述する。						抽出条件はこちら	
5		記述例: 市区町村番号の201と202を抽出対象とする場合							
7		"市区町村番号"	201	202					
10		必要な項目には*	1						
11	*	"ファイルアイデント"							
12	*	"県番号"							
13	*	"市区町村番号"							
14	*	"表章地域区分"							
15	*	"町字等コード"							
16	*	"町字等名称"							
17	*	"秘匿区分"							
18	*	"秘匿・合算符号"	*						
19	*	"秘匿地域コード"							
20	*	"市区町村番号(3) + 町字コード(8)"							
22		以下データ項目							
23		抜き出す項目を*にする。							
24		指示が終了したら、このボタンを押す。----->							
26	*	b91/015表・表頭1番目:総数(総数)							
27	*	b92/015表・表頭1番目:総数(総数)							
28	*	b93/015表・表頭1番目:総数(総数)							
29	*	b94/015表・表頭1番目:総数(総数)							
30	*	b95/015表・表頭1番目:総数(総数)							
31	*	b96/015表・表頭1番目:総数(総数)							
32	*	b97/015表・表頭1番目:総数(総数)							
33	*	b98/015表・表頭1番目:総数(総数)							
34	*	b99/015表・表頭1番目:総数(総数)							
35	*	b10/015表・表頭1番目:総数(総数)							
36	*	b11/015表・表頭1番目:総数(総数)							

Callout 1 (top right): 抜き出し対象を絞る場合は、例に従ってコードを書く。複数ある場合は右に向かって記述していく

Callout 2 (middle left): 必要な項目に*を入れる。*は英字でも2バイト系でもOK。

Callout 3 (bottom right): 指示が終わったこれをクリックする。抜き出し画面が表示される。

3. 指標値型 CSV ファイルの必要事項を指定する。

The image shows two screenshots from a software application. The top screenshot is a dialog box titled '指標値型データのデータ抽出' (Indicator Value Data Extraction). It contains fields for '元ファイル' (Source File), '抜き出し先ファイル' (Destination File), and '抜き出し最大レコード数' (Maximum Number of Records to Extract). There are also radio buttons for '抜き出し先ファイルの種類' (Destination File Type) with options for CSV, Excel, and DBF. Callout boxes provide instructions: '抜き出し結果のタイプを選ぶ' (Select the type of extraction result), '参照をクリックすると「ファイルを開く」のウィザードが表示される。' (Clicking '参照' displays the 'Open File' wizard), and '抽出最大数を指定する。全ての場合は「全て」と指定する。' (Specify the maximum number of records to extract. Specify '全て' for all). The bottom screenshot is a file explorer window showing a folder 'H12KK2501' with files 'H12KK2S01.J.dat' and 'H12KK2S01.S.dat'. Callout boxes provide instructions: '抽出元データと抽出先データ名を指定すると表示される。' (Specify source and destination data names to be displayed), '1. 抽出元のデータを選ぶ。名前は町丁字その2の場合は H12KK2Snn@.dat である。nn は県番号、@は J,S,X のいずれか。ダブルクリックで選ぶ。' (1. Select the source data. The name is H12KK2Snn@.dat for town/ward/section 2. nn is the prefecture number, @ is J, S, or X. Select by double-clicking.), and '2. 抜き出し先のデータを選ぶ。新規の場合はファイル名をキーインして開くをクリックする。' (2. Select the destination data. For new files, enter the filename and click '開く').

抜き出し結果のタイプを選ぶ

指標値型データのデータ抽出

平成12年国勢調査 小地域集計
指標値型データをデータ抽出します

元ファイル 参照

抜き出し先ファイル 参照

抜き出し最大レコード数 (含む見出し行) 数字以外を入れると対象となったもの全てとします

元ファイルの名前 (kkは県番号)
人口秘匿: H12KK2Skk.J.dat
世帯秘匿: H12KK2Skk.S.dat

抜き出し先ファイルの種類
 CSV
 Excel
 DBF

参照をクリックすると「ファイルを開く」のウィザードが表示される。

抽出最大数を指定する。全ての場合は「全て」と指定する。

抽出元データと抽出先データ名を指定すると表示される。

ファイルを開く

ファイルの場所: H12KK2501

H12KK2S01.J.dat
H12KK2S01.S.dat

ファイル名:
ファイルの種類: 集計データ(人口数秘匿 J)

1. 抽出元のデータを選ぶ。
名前は町丁字その2の場合は [H12KK2Snn@.dat](#) である。nn は県番号、@は J,S,X のいずれか。ダブルクリックで選ぶ。

2. 抜き出し先のデータを選ぶ。
新規の場合はファイル名をキーインして開くをクリックする。

「実行」ボタンをクリックして抽出を開始させる。

抽出が終了したら「もどる」ボタンをクリックする。

利用上の留意点

(1) 秘匿について：

平成 12 年集計での秘匿は一定規模以下の地域の集計結果を秘匿する。すなわち、秘匿対象となる地域は全ての集計表において秘匿される。秘匿は次の三タイプとなっており、指標値型 CSV データは集計表をこの 3 タイプに分類し、タイプごとに地域で 1 データとしてとりまとめたものである。秘匿されたデータは一定の手順に基づいて他の地域（町丁字等別の場合、原則は直前の地域）に足し上げられ、どこからどこへ足し上げられたのかの情報は CSV データの最後に記録している。

1．世帯に関する秘匿

各地域において一般世帯数が 1~3 の地域が秘匿される。

2．世帯に人口に関する秘匿

各地域において一般世帯数と施設等の世帯人員の合計が 1~3 の場合に秘匿する。

3．秘匿なし

秘匿措置なし

統計局で集計した集計表（TEXT 形式としてシンフォニカから提供中）と秘匿の関係は次のとおりであり、指標値型 CSV データは秘匿が同じものを集計区分ごとに一つのデータにまとめている。

基本単位区別集計

第 1 表（秘匿なし）、第 2 表（人口秘匿）、第 3 表（秘匿なし）

町丁字等別集計その 1

第 4 表（秘匿なし）、第 5 表、第 6 表（人口秘匿）

第 7 表（秘匿なし）、第 8 表～第 14 表（世帯秘匿）

町丁字等別集計その 2

第 15 表～第 21 表（人口秘匿）、第 22 表、第 23 表（世帯秘匿）

町丁字等別集計その 3

第 24 表、第 25 表（人口秘匿）、第 26 表（世帯秘匿）

従業地・通学地

第 27 表、第 28 表（人口秘匿）

人口移動

第 29 表（人口秘匿）

(2) 集計データについて

集計値なしは数字の「0」、秘匿され隠されたデータはブランク（桁の「 」としている。（すなわち、統計局での集計は「-」を「0」、「ブランク」を「ブランク」としている。）